

TGゲルA剤・B剤

2液型固結可塑剤

特徴

- ◆ 効果 二液が固結して摩擦減少効果が発揮します。
水中においても固結します。また水分の多い場所では特に止水注入剤にも使用できます。
- ◆ 作業性 A剤・B剤が共に調合しやすい様に小分けされています。
- ◆ 安全性 毒劇物などの環境規制を受ける原材料は含まれていません。

用途

- ◆ 各種、推進工法用摩擦減少剤（可塑剤）に使用
- ◆ シールド工法及びセミシールド工法用止水剤・地盤沈下防止剤に使用

使用手順

- ① A剤とB剤は別々に攪拌します。
- ② A剤は石油缶2缶（50kg）をA液タンクに投入します。その後水を加え200ℓとし、攪拌を十分にします。
- ③ B剤は1袋（20kg）をB液タンクに投入しあらかじめ入れて置いた水約190ℓ分と配合して平均約3～5分間攪拌を十分にします。
*B液は特に攪拌する必要があります。水に溶けにくいものが一部原料とされているためタンクの下に沈殿物が溜まる可能性があります。
- ④ A液・B液は別々に圧送してください。
- ⑤ 圧送中はミキサーを止めないで下さい。

ゲルタイムについて

- ◆ 基準配合（ゲルタイム規格値）
ゲルタイムは基準配合で20～40秒/20℃・40～60秒/10℃に設定されています。
- ◆ ゲルタイムの短縮化
ゲルタイムを短縮する必要がある場合、A剤を増やすことにより短縮することが出来ます。

配合表

A液	B液
A剤 2缶 (25 kg×2) 水 164ℓ	B剤 1袋 (20 kg×1) 水 190ℓ
200ℓ	200ℓ
計 400ℓ	

性状

品名	A剤	B剤
外観	無色粘調液体	白色粉末
粘性	120 mPa.s	210 mPa.s
配合液 pH	11.5	9.0

荷姿

商品名	A剤	B剤
内容量	25 kg (18ℓ)	20 kg
形態	石油缶・コンテナ	紙袋

取扱い上の注意

- ◆ A剤は、アルカリ性薬品のため目に入らないように取り扱ってください
- ◆ B剤は袋入り粉末状のため雨水または、その他の水にかからないように保管してください。
- ◆ B剤は必ず攪拌しながら圧送してください。

テクニカ合同株式会社

(本社 西日本国際事業グループ) 〒658-0015
神戸市東灘区本山南町8丁目6番26号 東神戸センタービル12階
TEL078-436-0280 FAX078-451-0257
(東日本事業グループ) 〒170-0013
東京都豊島区東池袋3丁目9番10号 池袋FNビル1階
TEL03-6907-2566 FAX03-3985-8611
(神戸研究室) 〒652-0884
神戸市兵庫区和田山通1丁目2番25号 D棟405号
TEL・FAX078-671-1190
(大阪工場) 〒577-0067
大阪府東大阪市高井田西4丁目1番9号
TEL06-4309-7340 FAX06-4309-7341
URL : <https://www.technica-goudou.co.jp/>